

ファミリーホーム通信

DREAMS COME TRUE

「みんなで描こう未来予想図」

FamiZania に子どもたちの歓声が
第12回全国研究大会 in OSAKA

—カメラでのぞいた大阪大会—

平成 29 年 8 月 4 日～5 日 ホテル阪急エキスポパーク

2017 年 9 月

発行 一般社団法人日本ファミリーホーム協議会

編集 日本ファミリーホーム協議会事務局

連絡先 群馬県前橋市表町 1-17-17 ファミリーホーム上野内

TEL 027-289-2612 FAX 027-289-9110

今年の全国研究大会は8月4日～5日、大阪府吹田市のホテル阪急エキスポパークで開催され、参加者は大人と子ども合わせて約460名でした。今回の特徴は、「みんなで描こう未来予想図」というテーマのもと、子どもたちが将来の夢を描くため、自立のための一歩として「FamiZania」(ファミザニア)を行いました。FamiZaniaとは「キッズニアのファミリーホーム版」といってもよく、子どもたちは目を輝かせて、いろいろなお仕事体験ブースを回っていました。ここでは開会式や各分科会、ファミザニアの様子を写真とともにご紹介します。



岡本太郎氏の「太陽の塔」会場からも見えました。



ト蔵会長挨拶 里親制度は大きな変換点を迎えています。養育者は全員里親登録をしなければなりません。里親の役割はますます大きくなってきます。



大会委員長の荘保さんから歓迎の言葉

第3分科会の様子
F Hの未来予想図は？



第4分科会 不適切な養育の改善はどうするのか。



第1分科会 中小企業家同友会の皆さんとの協働



第5分科会 F H家庭の実子のケアは？



第2分科会 地域の子どものS O Sに気づき支援するのこれから重要

子どもプログラム お仕事体験「FamiZania」



畳屋さん



警備さん

広い会場も満杯



これはケーキ
(見本)

人気No.1 美容師



自作クッキー



グラフィックデザイナーをめざすぞー





フラワーアレンジメント 細かい作業は私なら



ゲームプログラマー



ホテルの調理師さん
たちも応援、こうやって
巻くのよ。海苔巻きに挑戦



女性の大工さんの登場が待たれていますよ。



女の子の永遠の願い♡「きれいになりた〜い」



かわいくやってね

おれたちはプログラマーだ



梅のこねかたはこうやるのよ



イクメンも今から練習。ミルクのあげ方も上手になりましたね。そうそう首に気を付けて。



多くの子どもたちが来てくれました。姿勢がどれだけ大切なのか、今は分からなくても、これから分かってくれればいいと思います。（姿勢調整士さん）

子どもたちは元気があっていいですね。いろいろな職業を体験できてよかったです。この中からでも自分に合った仕事が出てくれればうれしいですね。楽しそうにしていますよ。

（エス・ケー・データさん）



ケーキのトッピングを作ってもらいました。子どもたちはケーキが大好きなのでいっしょうけんめいでした。出来上がったら試食ですが、みな満足そうでした。ホテルから私たちもお手伝いさせていただきました。

（ホテル阪急エキスポパークさん）



君には赤より青がにあうわねー

背中がまがってるなー、
ゲームのやり過ぎかなー？

「いい気持だなー」



子どもたちの声



おもしろい。大工さんもいいけど、食べ物が好きだからケーキ屋さんがいいかなー。美容師さんもいいなー。畳屋さんって男の子の仕事みたいで力があるもんね～。いろいろ体験できて面白かった！！将来のことを考えるより、いっぱい楽しんじゃった！！

警備のおじさんのところ行ったけど、たたかうの自信ないなー。

電気とかコンピューターをつかうのがおもしろい！

ノリ巻きを作って1個だけたべた、でも巻くのはむずかしい

いっぱいあってみんなやりたかったけど全部はできなかった

「将来何やりたいか」って聞かれたけどプログラマーがいいかなー

赤ちゃんにミルクあげるのってむずかしいー

自動車の整備士さんもおもしろいかも！



＜今大会のメインであるファミザニアの「京都府中小企業家同友会の前川 順さん」にお聞きしました。前川さんは今回のファミザニアの企業側の代表世話人の立場の方。歯切れのよい話し方と歯にきぬ着せぬお話しには、なるほど



とうなずきます。＞

施設の子どもたちは毎月誰かしら企業に体験に来ます。企業側は「寄り添う」ことを中心に考えています。心のつながりが大切と考えているからです。今まで、子どもたちの好きな仕事とか興味のある仕事などがいいのかなーと思っていましたが、それもあります、やはり心のつながりが一番ということです。興味のある仕事であっても就職後まもなくやめてしまったりすることがあるでしょう。心のつながりがあればこそ「同友会からの子は長続きするんです。」仕事を始めて2～3か月後に正社員になる子も多くいます。今では「支援」から「**適人探索交流**」（応援団）として活動をしています。どんな子たちと繋がっていけるか。ということだと思います。

「夏休み就労体験実習は中学生から行うことにしました。受け入れ企業はすべて同友会の会員企業です。・・・実習期間はその会社の1週間を基本にしています。学校で行うチャレンジ体験よりも長い実習時間です。・・・仕事を教えるというより社長さんや社員と仲良くなってもらうというのがものすごく大事だということです。今のところ実習の終了率は100%です。途中で嫌になった子もいるでしょうが、学園の職員さん（桃山学園）がうまいことあと押ししてくださったと思うんですが、途中でやめた子はいないんです。実習は一人に一企業です。複数で行くとお話をしたり比較したりするからです。実習後はテレビの話題から仕事の話題などに代わってくるそうです。大人びた会話に代わってくるそうです。」（施設里親家庭で暮らす子どもの未来を拓くー前川氏のブックレット）

中小企業家同友会は全国に支部があります。私たちは子どもたちや施設のみなさん、里親さんなどからいろいろとお願いや要望があれば3つの答えがあります。それは「はい」と「イエス」と「喜んで」です。お断りしません。まだ同友会と接点がなければ、各県の事務局に出かけてください。子どもたちの難しい心は専門家に任せます。仕事は同友会にらせてください。そして「仕事を自分で探せる」「自分からSOSを出せる」そんな人に育てたいと思っています。

＜前川氏は「ジュンブライダル」の代表取締役です。＞

コースプログラムもありました

「中高生のしゃべり場～弱み・強み・希望と夢～」



洋食のフルコース。ナイフやフォークの使い方がこころ難しそうでしたが、味は分かりましたか？でも、おいしそうでした。

そのあとはグループに分かれて、上のテーマで話し合い。画用紙に3軒の家を描き、自分の弱みや強さを列挙したり自分の未来にはどんなことが必要か。を話し合いました。

子どもたちからは、養育者さんに「感謝している」「恩返しをするからね」という泣かせる声を聞かせてもらいました。



大会スタッフ < 野口 婦美子さん >

今回は企業の方々、子どもたちにとって楽しくお仕事体験ができるように準備して、各ブースを設けて下さいました。昨年、近畿ブロックで初めて開催した事が好評で、今年は全国大会に向けて、規模を広げて企画しました。子どもたちが様々な仕事を体験すること、いろいろな人に出会うこと、それが将来につながった。という思いです。同友会の皆様のご協力がとても大きくて大成功だったと思います。また私たち大会スタッフも感無量です。皆様ありがとうございました。

FHの未来予想図は？

第3分科会でFHの未来予想図を提起し、それを要望書にして、閉会式で会長に渡しました。どんな未来予想図か？

要 望 書

日本ファミリーホーム協議会 役員の皆様へ

- 1、 定員払い
- 2、 持ち家でのファミリーホーム運営に対する、家賃補助等の支援
- 3、 事務処理の軽減
- 4、 確定申告の免除
- 5、 支援体制の充実（レスパイトの使用）
- 6、 親支援に措置費をつける
- 7、 措置費の単価を上げてほしい
- 8、 ファミリーホームへの期待（親支援・自立支援）に応えられる制度設計
- 9、 高校生への措置費の充実
- 10、 厚生年金を払えるようにする
- 11、 自治体間格差をなくす
- 12、 障害のある子への手当て、加算をつける

①文科省から（八島専門官より）

給付型奨学金の概要について一高校の推薦枠の範囲外での推薦可能。積極的に応募してほしい。

②会長より

社会的養護の在り方検討会で議論が重ねられてきたが、3月31日付で発布されている。

家庭養護が強く押し出されている。

③事務局より

会員数の報告（273）

ブロック活動費の振り込み。

④各委員会より

事業調査委員会—今年度は事業調査プラスαで。

研修委員会—処遇改善研修は各ブロックで開催予定。日程を第3希望まで決め、事務局に連絡すること。7月末までに各自治体主管課宛て、研修開催・内容・F Hにふさわしい研修であることを周知させるようにする。

社会的養護とF H編集委員会—年度末に発行予定

役員選出規定検討委員会—11月の運営会議時には何らかの提案をしたい。

⑤他団体との連携

子どもの家庭養育推進官民会議報告

全国退所児童支援事業協議会報告

児童の養護と未来を考える議員連盟報告

国立武蔵野学院社会的養護における「育ち「育て」を考える研究会報告

社会的養護関係施設の第三者評価の見直しに関する調査研究報告

⑥ブロック活動計画報告—各ブロックより

沖縄—障害の重い子が措置されて困っている。

九州—県によって合同連絡協議会を発足。

法人型のホームが増加している。

中四国—四国で研修予定。再来年の大会開催地として希望があれば出してほしい。

東海北陸静岡—岐阜で宿泊研修、懇親会開催予定

関東甲信越—処遇改善研修に60ホームの参加を目指す。来年は新潟を知ってもらおう活動を。

東北—活動計画書より

北海道—ホーム相互訪問事業の実施。

フードバンク事業の開始

次回運営会議は、11月16日（木）の予定

- 今回は全国研究大会の様子を中心にしましたが、まだ懇親会の様子が残っています。紙面に余裕ができましたので、見てください。



九州、沖縄ブロックを中心にしたグループです。どのテーブルでも楽しそうな話声が聞こえてきました！！



いつもは景品提供者でしたが、今回はいただく方に。

すっかり恒例になりましたくじ引きです。



（くじが弱い編者です。番号を見ずに写真撮り。やはりはずれでした。）